

もつと話そう。 お風呂で話そう。

お風呂は、毎日仕事忙しいパパにとって、子どもとのコミュニケーションを育む絶好の場所。会話を楽しんだり、一緒に遊んだり…。最近ではそんなお風呂でのふれあいを「浴育(風呂育)」と呼びます。今回は、パパと子どもが主役の浴育特集です。



小津 智一さん
38歳・娘4歳/会社役員
FJQ代表理事を務めながら、子育て支援サービス企業「株式会社OZ Company」役員を兼務。

中村 お風呂は裸のつきあい。だからこそ一番素直になれる場所ではないでしょうか。ママに言いないうこととか、子どもとでもけつこう深い話をするんですよ。小津 疲れて帰ってきて、「お風呂くらい一人になってゆつたりしたい」なんてパパもいますが、もつ

たいたいそれだけじゃなく、パパがお風呂を担当するとママにほんのちよつとでもゆつりの時間がプレゼントできるんですよ。中村 そのためにも、浴育を考えて子どもと向き合うより、自分が楽しむことが一番大事だと思っんです。子どもたちはそこをちゃんと見てます。小津 僕の娘はお風呂になかなか入りたがらないところがあって…。でも子どもは楽しいことがあれば興味を持つので、さまざま工夫をしていますよ。宮原 僕は「プロのシングルパパ」(笑)、子ども3人をお風呂に入れるのもタイ



積極的に育児に関わろうとしている「九州男児」のパパたちがいます。「ファザーリング・ジャパン九州」を立ち上げた、まさに「イクメン(=育児するメンズ)」な4人のパパたちが浴育について話ってくれました。

突然、言えるのがお風呂。

除は我が家ではジャンケン制なんです。みんなやりたくないから真剣勝負。それもまたコミュニケーションですよ。ちなみに最後にお風呂に入った人が入浴後の後掃除担当というルールもあります。子どもたちは一目散に我れ先にと入りますね。楽しいですよ。



浴育ってなんだ?

「浴育」とは子どもと一緒に風呂に入ることで、親子のコミュニケーションを深める一方、子どもの感性を育てたり、能力をさらに伸ばそうという取り組みです。



九州のパパが変われば、日本のパパが変わる!

まず、FJQの活動についておしえてください。

小津 ファザーリング・ジャパンの会員は全国に160名ほどいますが、そのうち九州には8名が加入。九州男児とイクメン、なんて一語のなさをそうな組み合わせですが、でも僕たちはファザーリング・ジャパン初の地方支部の旗揚げに成功、全国に広がる支

④ 上手な浴育のコツってありますか? 中村 たには「上手な声かけの方法」なんて書籍もあるようですが…。宮原 上手な声かけ? 突然声かけできるのがお風呂ではないでしょうか。頭を泡だらけにしなから、体をこすりながら、「で、今日はどうだったん?」と、突然話をふつても違和感がないのがお風呂という場所。居間やキッチンで聞く方が逆にあらたまってしまふ…。

成功談より、自分の失敗談をたくさん話そう。

宮原 コツとかか? 子どもに何かを伝えたい時は、成功談じゃなくて、自分の失敗談を話すのがいいと思うんです。「パパでも僕と同じ失敗するんだと、ぐつと距離も近く感じるでしょうし、何かと失敗談の方が興味を持つみたいです。」



宮原 礼智さん
39歳・息子13歳・10歳、娘6歳/自営業
ひとり親家庭支援ネットワーク「Wink九州ふしぼしねっと」主宰、「シングルパパ」として奮闘中!

狭いお風呂に、「世界」を持ち込もう。

川添 お風呂で九九を覚えたり、日本地図で地名を暗記したり…。でも僕は「学び」はお風呂を出たあとにするしつけも合わせることが重要だと思います。

中村 確かに。たとえば僕は、居間で一緒にニュースを見た後、お風呂に入って「さっき

Fathering Japan Q-shu

[ファザーリング・ジャパン九州]
<http://fjq.jp/>

特定非営利活動法人ファザーリング・ジャパン(2006年設立/本拠地・東京都)の九州メンバーが2010年4月4日に設立した任意団体。九州男児なパパ達を支援するパパコミュニティ(略称:FJQ)。



川添 祐樹さん
35歳・娘6歳・1歳/web関連コンサル業
インターネット関連のコンサルタント、FJQのホームページを担当。



部の先駆けなんです。川添 本当は「イクメン」という言葉にも多少のアレルギーがあるほど、「親父の背中」派(笑)、九州男児なんです。でも、逆に「九州には九州なりの子育てがあるはずだ」ということを発信できるのではないかと、九州に居住する会員、数人で九州支部を立ち上げました。宮原 以来、メンバー同士、公私ともに太いパイプでつながり、パパの子育てに関するさまざまな活動と一緒に進んでいます。

パパが楽しむと、ママのゆとりが増える!

⑤ では、活動の中に「浴育」も含まれると思うのですが、みなさんの毎日の入浴タイムはいかがですか?

のニュースで言うた国ってさ、子どもが戦争でたくさん殺されたところ。ここだよって、お風呂場に貼ってある世界地図(※)を使って教える。ついでに戦争の話もする。狭いお風呂の中だけで完結するのはなく、お風呂に入る前も入った後もちゃんと一連、外の世界とつなげる。つまり、浴育はお風呂の中だけのことじゃなくて育児全体として捉えるものでは?



中村 守男さん
33歳・息子6歳、娘4歳/業別
健康・医療の面から育児支援をする「NPO法人こどもとくすり」の代表としても活動中。



浴育は、子どもではなく、家族を育てるもの。

⑥ なるほど。浴育って広がりがあるんですね。

中村 広がるといえば、最近我が家では家族全員でお風呂に入ります。それがとてもイイ! 子どもたちはやはり長いこと浸かっているから先に上がるでしょう。当然、妻と二人つきりになるんですけど、いろいろな話ができるんです。なんか、お風呂だと素直に言えることも多くて、いい時間ができました。子どもたちも「ママとお風呂はいろいろ」ってそのかすと「ダメー!」って割り込んで来ますからね。小津 僕もそうです。大切なのは、浴育って対子ども、対パパ、ではなく、「家族みんなが育む家族の和づくり」なのかもしれないですね。